

濃縮タイプ

油・よごれ落としに
V O C 削減 に貢献します。

エコ・バロール

一般工業用

SB-M(中性)

特 徴

微生物による分解が促進されやすく、**生分解性97%以上**(日本食品分析センター分析値)で、自然界や排水処理設備に悪影響をもたらすことはありません。

塗装前の脱脂用(ラッカーシンナーやトルエン等の代替)に最適です。

VOCの削減に成ります。

特殊脂肪酸を主原料とした、ソフトタイプの**鉱物油脂を対象とした油分散洗浄剤**です。濃縮タイプです。油汚れの状況により、**水で希釈**(平均10~20倍)して使用します。使用水は軟水、硬水、海水を問わず有効です。

剥離浸透性が強く、油脂類を微粒子化して**100%親水性**にすることができます。

分散力も高く、油紋やオイルボールが無く、**再付着が有りません**。

スポンジやたわしに汚れが付きにくく、排水管や排水処理設備に油の二次汚染による悪影響をもたらしません。

水系洗浄剤ですので、**消防法上の備蓄制限は有りません**。

洗浄剤の温度を**90 以上に上げないで**下さい。洗浄効果が低下します。

洗浄剤の温度を**50 ~ 80 に保ち洗浄しますと洗浄効果が上がります**。

すすぎが容易のため使用水量の軽減を図れます。

物 性

非イオン系界面活性剤です。

殆んど臭いの無い、無色の中性洗浄剤です。

ABS、LAS、リン酸塩、砒素、重金属類、メチルアルコール、蛍光増白剤、着色料、環境ホルモン物質(有機溶剤等)、法律に基づく使用禁止物質は殆んど含んでおりません。

使用上の注意

ポリスチロール・アセテートの容器等は避けてください。

アルミニウム類は浸漬後 24 時間以内に洗浄してください。

使用中目に入った時は直ちに流水で目を充分洗浄し眼科医の診療を受けてください。

皮膚の弱い方は使用の際ゴム手袋、長袖保護衣、マスク、保護メガネ等を着用し、直接皮膚に付着しないようにしてください。

脱脂効果が高いため、使用後はハンドクリームなどで手肌の手入れをお勧め致します。

容器の種類

500g ポリ容器入・1.8Kg ポリ容器入・4Kg 減容ボトル入・18Kg 缶入



保 管

液体そのものは3年以内、容器の性質寿命、保管場所(温度・湿度・日光他)等を考慮すると余り長期の保管はお勧め出来ません。1斗缶の場合6ヶ月をめどとし、それ以上の期間保管する場合腐食しない容器に入替えて下さい。氷点下で凍結致します。凍結しない様に配慮して下さい。但し、解凍後良く攪拌すれば性能は変わらず、使用出来ます。直射日光に当てないで下さい。物性が変わります。

使用方法

Mタイプで落しきれなかったひどい汚れにはMAを使用して下さい。一般的に10～20倍の希釈液を、十分に攪拌した後使用します。洗浄対象物により希釈濃度が違いますので、最適希釈濃度を選定して下さい。(汚れや使用目的に応じて水で3～50倍に希釈してご使用下さい。)

洗浄には、以下の方法が有ります。

- あま絞りにした雑巾で汚れた部分を拭き取ります。
- 浸漬槽に漬け、雑巾、ウエス、ブラシ、研磨剤付不織布等で手洗いをします。
- 噴霧器、霧吹き、散布等の方法で直接洗浄液(原液又は希釈液)をかけた対象物により即又は、1～10分位放置した後、ウエス等で拭き取ります。
- 汚れにより超音波洗浄、高圧洗浄も有ります。

しつこい油汚れには、原液をつければ早く緩みます。堆積化した油は、スクレパー等で出来るだけ削り取りワイヤーブラシ、たわし、デッキブラシ、モップ等で擦り洗いをして下さい。洗浄物の数量が多い、手作業では脱脂が難しい、隠れた部分がある等の場合高圧洗浄、超音波洗浄をお勧め致します。洗浄液の汚れがひどい、浮遊物・沈降物が多く洗浄対象物の表面が汚れていると思われる場合、清水ですすぎ流して下さい。浮遊物、沈降物が増加した場合、フィルター等で濾過後再使用して下さい。乾燥時間が必ず必要に成ります。時間短縮するには、温水洗浄、エアブロー、ウエス等による拭き取る方法が有ります。

用 途(鉱物油の除去等)

作業着、軍手、ウエス等の洗濯(汚れのひどい時10～20倍で24時間後希釈率100倍) 水性油性問わず、使用直後の刷毛、筆等に付いた塗料の洗浄。
床、壁、機械、器具等場内清掃(希釈率10～20倍)。
什器、機械設備等の洗浄。(希釈率10～20倍)
コンクリート床、壁、住宅等の塗装面の清掃。
トルエン、シンナー等有機溶剤による脱脂液の代替液。(VOC削減に成ります)
ガラス等表面の脱脂。
海洋・河川に流出した油の処理。
舗装道路に流失した油の処理。(希釈率20～30倍)
高圧洗浄の場合(希釈率30～50倍)
土壌に油が流失した場合の無害化。(希釈率20～30倍をシャワーで散布)

廃液処理(排水処理設備がない場合)

そのまま下水に流せますが、残渣(浮遊物、小さなごみ、きりこ、ノロ等不溶解物)がある場合ウエス、ろ紙等で残渣を除去した後、水で希釈して下水に流して下さい。

製造・発売元

エスビーエスプロダクツ

【<http://www.sbs-hp.co.jp>】